

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	北海道大学	整理番号	1-1-064
応募テーマ	主として総合的取組に関するテーマ		
取組名称	進化するコアカリキュラム -北海道大学の教養教育とそのシステム-		
申請単位	大学全体		
申請担当者	安藤 厚		
<p>(取組の概要)</p> <p>北海道大学では、1995 年の「学部一貫教育」の導入以降も、札幌農学校以来の伝統である全人教育＝教養教育を重視し、学長の主導による全学的な検討を経て、2001 年にリベラルアーツを中心とする必須の教養科目＝コアカリキュラムによる教育を開始した。</p> <p>北海道大学のコアカリキュラムの特色は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) シンプルな構造と高い普遍性を備えた科目群からなり、</li> <li>2) 多彩な新機軸の科目が次々と開発され、</li> <li>3) 教員研修 (FD)、教授法開発、教育評価の仕組みが整備されていることにある。</li> </ol> <p>組織の面では、高等教育機能開発総合センター全学教育部を中心として、「責任部局」と「全学協力」による教育実施体制と、研究部の科目開発・教員研修 (FD)・教育評価の活動が連携して、一つのシステムとして有効に機能していることに大きな特色がある。</p> <p>コアカリキュラム＝純粋な教養教育の整備の先には、基礎教育・専門教育の再編成、「総合的な学士課程」の構築が展望されている。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、北海道大学の教育目的、教育方針である「フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視」の理念に基づく人作りを実現するため、北海道大学高等教育機能開発総合センターが中心となって、すでに 9 年にわたって組織的に実施されている取組であり、関係者の努力によって当初目的とした「新しい北大方式による進化するコアカリキュラムの構築」を達成するなど大きな成果を上げております。この取組は特に、「教務委員会を柱とする新しい北大方式」が機能しており、他の大学の参考になる事例です。</p>			